

〈はじめに〉

山岸 健

本報告書は三部からなる。第1部においては風景へのアプローチ、風景を理解するためのいくつかの着眼点が見られている。変わりつつある時代、人びとが生きている日常的世界、私たちの日常生活を理解するために〈風景〉、〈景觀〉、〈サウンドスケープ〉といった視点をとりながら日常的な現実を見ていくことができると考えられる。日常生活研究と風景研究のためのパースペクティブとアプローチのいくつかを示すことができたとしたら幸いである。

第2部では原宿、渋谷、谷中、佃島の各地点の特定の時代相と時代の変遷に注目し、人びとの日常生活の場面と諸相、環境世界の変貌について、また、現代の日常的世界の様相について報告するものである。視点のとり方とアプローチはさまざまであり、全体として複眼的で多次元的な考察がおこなわれたことになれば幸いである。

第3部は東京都中央区佃の限定されたフィールドでおこなわれた調査報告書であり、アンケートによる調査をふまえて作成されたものである。住民の方々の協力を得ておこなわれた本研究が、都市研究に新たな展望を開き、都市研究の新たな方向を示すことができたとしたら、まことに幸いと思う。

本研究報告を風景論の視点から都市研究を進める礎石とし、今後もこうした視点から人間と日常的世界に注目しながら変貌しつつある都市を見ていきたい。